

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社シーエックスカーゴ 尾道流通センター

(2) 事業所の所在地

尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1番1尾道流通団地内

(3) 業種

冷蔵倉庫業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

シーエックスカーゴでは日本生協連と共に、温室効果ガス総量削減計画として、アクションプランを策定し、2030年度までにCO2排出量40%削減を目指し、年度ごとに目標数値を設定して取り組んでいます。

今後も省エネ対策については、施設改善と運用改善に対策を分けて取り組みを進めていきます。

庫内電気・ガスの使用では

- 省エネルギー、省資源の推進
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育の徹底

日本生協連グループの一員として、温室効果ガス削減計画を策定し2020年度までに2005年度比15%削減を目標としています。

各年度目標と月度単位の排出量目標に対しての数値結果を定期的な達成状況や課題進捗を実施しています。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和2（2020）年度
二酸化炭素	5,210	4,788

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	5,210	40.0	2,084	3,126
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	電気は、中国電力 (株) の実排出係数を使用			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 ( ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の把握	数値目標無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小メーターによる定期的な観察と記録を取る</li> <li>・職場内で公表し意識を高める</li> </ul>
2	電気使用量の削減	使用量を前年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明の不要箇所の間引き</li> <li>・非稼働箇所の消灯</li> <li>・生産性向上による稼働時間の短縮</li> <li>・蓄冷材凍結庫の適切な設定温度</li> </ul>
		購入電力10%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電設備の導入</li> </ul>
3	電力会社の見直し	数値目標無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素電力会社への切り替え検討開始</li> </ul>
4	省電力機器の導入	374kwh/年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍光灯のLED化</li> </ul>

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

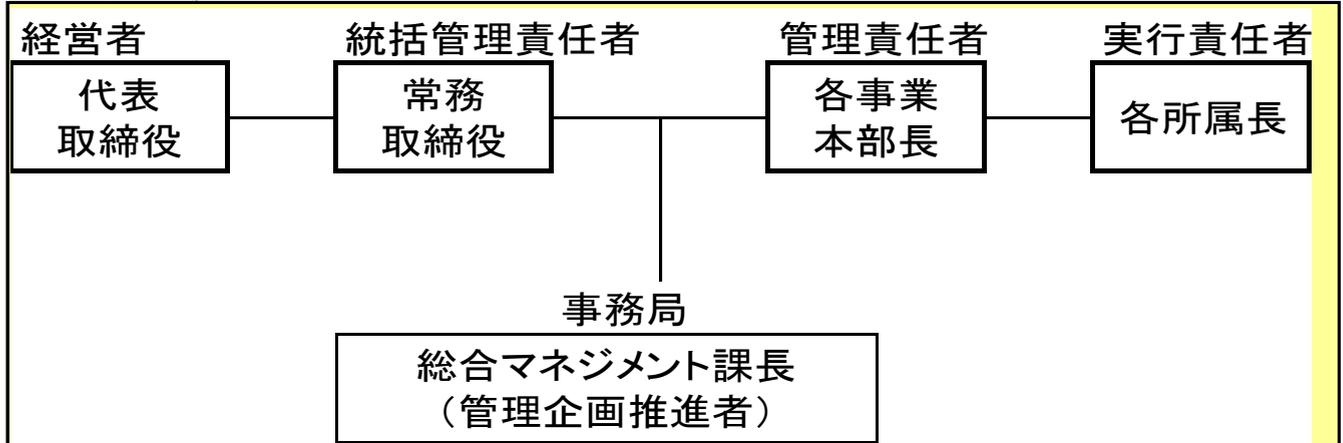
### ○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	エコドライブ教育	数値目標無し	通勤用車両の使用時にエコドライブを推奨する。
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

総合マネジメント課を中心に、アクションプラン推進会議を  
エネルギーの使用量は、毎月集約を実施し、進捗の点検と管理を行っています。

(3) 計画書等の公表